



夏期開園は11月3日(土・祝)までとなります。開園時間は午前9:30~午後5:15(入園は午後4:00まで)となっております。
なお、10月16日(火)~11月3日(土・祝)の開園時間は午後4:30(入園は午後4:00まで)となっております。

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園 動物図書館 電話0166-36-1104

4月中旬に孵化し、5月末に巣立ったシマフクロウのヒナ。今では、自由に飛び疑似池の中の魚も自分で獲るまでに育ちました。目(虹彩)の色はまだオレンジ色です(成鳥は黄色)。体の大きさは親とほとんど変わりません。



シマフクロウ(8/20撮影)

ススキの穂も始めました。短い秋の始まりです。夜の動物園が終わる前に、夏がすでに終わっていった感じがした今年の旭川。8/17の未明に、大雪山系黒岳で初雪が降ったというニュースには季節の順番を疑ってしまっただけです。園内では、ススキに穂が始め、春から初夏にかけて生まれたヒナたちの成長の様子で夏の終わりを感ずります。

今年、夏期開園前の4月中旬にシマフクロウ、5月にはクマタカとイワトビペンギン、6月にはとりの村のカモ類が次々と孵化。まさに「ヒナ祭り」でした! これから園内の動物たちは少しずつ冬に向けて準備をし始めます。日照時間の少なさ、雨量の多さなど異常気象で右往左往する人間ですが、動物たちは自分たちのペースで生きています。

夏が終わり、ヒナたちは親離れの時期をむかえます

今年、春に「とりの村」がリニューアルオープンしたこともあり、たくさんのカモ類のヒナが誕生しました。4月にはシマフクロウが2羽、5月にはクマタカ、6月にはイワトビペンギンのヒナが孵化しました。そんなヒナたちもそれぞれ巣立ちし、そろそろ自分たちでエサを獲って生きていかなければならない時期になってきました(カモ類のヒナは生まれてすぐ自分でエサを獲りますが、親のそばにいます)。



←親 ヒナ→

イワトビペンギン(8/20撮影)

6/7に孵化したイワトビペンギンのヒナ。今年のヒナは、好奇心が旺盛なようで、外の放飼場に出てくるのも早かったそうです。目の上の飾り羽もうっすらと生えてきました。この飾り羽は来年の換羽時(羽が生え変わる時期)に大人と同じ羽に生えかわります。イワトビペンギンのヒナの目(虹彩)の色も、まだ、成鳥と異なる茶色(成鳥は赤色)です。もうすぐ親からの給餌もなくなります。

クマタカ(8/20撮影)

5/22に孵化し、7/21頃に巣立ったクマタカのヒナ。飛ぶことはできるのですが、羽にまだヒナっぽさがあります。目(虹彩)の色もまだ灰色(成鳥はオレンジ色)で、鋭い目つきのなかに幼さを感じます。

マガモ(8/20撮影)

6月上旬に次々と孵化したマガモのヒナは、成鳥と見分けるのが難しいくらいに大きくなり、7月の段階では、生えそろうていなかった翼も生えそろう、飛べるようになりました。胸からお腹にかけて細かい斑が並んでいるのがヒナです。ぜひ探してみてください。



「命」のお知らせ 旭山動物園で誕生・来園・死亡した動物をお知らせします。7/30

キングペンギンのヒナが孵化しました

冬に茶色の羽毛に覆われる、キングペンギンのヒナが、7/30に孵化しました。キングペンギンのヒナは、生まれたときに羽毛が生えていないので、一番暖かい親のお腹の下(脚の上)で育てられます。お腹をすかせ、エサをもらうときにだけ親のお腹から顔を出します。屋内放飼場の奥の方で子育てしているので、なかなかヒナの姿を観察しづらいですが、成長するにつれエサをねだる回数も増えてくるので、ぜひ観察してみてください。



ヒナ

8/22撮影

8/7、ライオンが来園しました

夜の動物園が始まる前の8/7、群馬県の桐生が岡動物園から1歳のオスのライオン「オリト」が来園しました。まだ1歳ということで、体も小さいです(といっても体重は約70kg)、ライオンのオスに生える「たてがみ」もまだまだ薄く、脚にも幼獣にのみ見られるまだら模様が残っています。「オリト」は、まだ旭山の環境に慣れていません。少しずつ「オリト」のペースで環境に慣らしていきます。8/27、初めて放飼場に出る練習をしました!



8/27撮影



8/20撮影

↑寝室(バックヤード)にいる「オリト」 ←練習初日は、放飼場に出てきませんでした

これからのイベント

9月 ■9月のワンポイントガイド 16(日)、17(月・祝)、23(日)、24(月・祝)、30(日) ■第50回児童動物園コンクール受賞作品展(イベントホール) 9/23(日・祝)

10月 ■10月のワンポイントガイド 7(日)、8(月・祝)、14(日)、21(日)、28(日) ■絵本の読み聞かせ(動物図書館) 10/13(土) 11:00~ ※10/16(火)~11/3(土・祝)の開園時間は16:30までになります ※11/3(土・祝)の夏期開園最終日は、「わくわくゲーム大会」を実施します(要事前参加申込・定員になり次第締め切り)

動物園の仕事に携わって

※このコラムは8月中に導入をした実習生の杉野菜月さん(関西学院大3年)が担当しました。今回の実習では、様々な業務に携わらせていただき、動物園は、多くの人の活躍で成り立っていると学びました。旭山動物園の理念は「伝えるのは、命」。動物園のもつ役割の中で、教育の重要性を特に実感しました。一人でも多くの人に、命の素晴らしさを伝えるため、飼育員さんは時には子供たちの先生に、管理の方は事務作業をこなし、時には職人のように施設修理をしたりしています。施設や看板など手作りされた部分の多さにも驚きました。常に、よりよい動物園を目指す職員の方々の熱意を感じた、あっという間の3週間でした。日本一北にある動物園ですが、とってもぬくもりのある動物園でした。



園内作業班の半澤主査と(上) 青草をおいしそうに食べるエゾシカ(右) ※本人撮影